



大正2年11月の写真。本県で開催の機動演習の際、砲兵大尉・北白川宮成久王が二泊され、演習後は朝香宮鳩彦王がお立ち寄りになりました。

旧田中銀行博物館

所在地 山梨県甲州市勝沼町
勝沼3130-1
開館日 水～日曜日（4～10月）
土・日曜日（11～3月）
開館時間 午前9時～午後4時
お問い合わせ

- 旧田中銀行博物館
☎0553-44-3755
- 甲州市教育委員会
☎0553-32-5076

※観覧無料

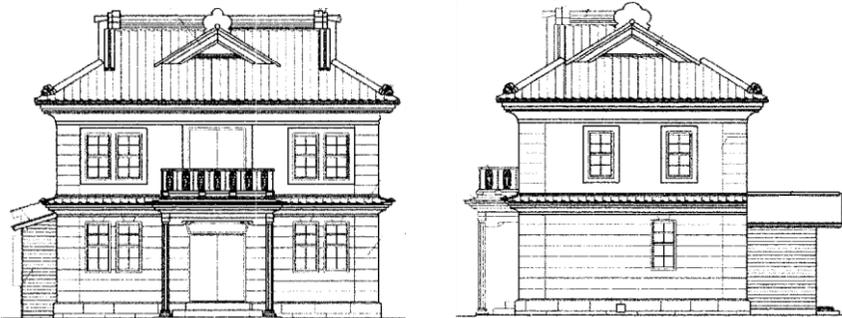


小さな洋風建築

旧田中銀行 博物館

登録有形文化財

旧田中銀行社屋・旧田中銀行土蔵



登録有形文化財

旧田中銀行の社屋とレンガ造土蔵は、明治後期から大正時代の洋風建築を伝える建造物として、平成9年5月に国の登録有形文化財となり、平成10年12月に田中逸策氏より旧勝沼町に寄贈されました。

勝沼郵便電信局の時代

旧田中銀行社屋は、明治30年代に勝沼郵便電信局舎として、局長田中英作が大工松木輝殿に依頼し建設したと伝えられています。

田中は、明治13年に完成した洋風建築勝沼学校の建設にあたり、等々力村戸長として係わり、明治9年に洋風建築祝学校を完成させていた松木を大工棟梁に選び、完成直後に明治天皇の行在所（休憩所）として利用される栄誉を得て以来の関係がありました。

大工棟梁・松木輝殿（まつきてるしげ）

天保14年（1843）南部下山に生まれ、県令藤村紫朗が推奨した洋風建築を手がけた大工棟梁で、主に学校建築に係わり、明治8年に設計した陸沢学校は現在国の重要文化財に指定されています。

また、松木が和紙に描いた指図（設計図）が今も保存されています。

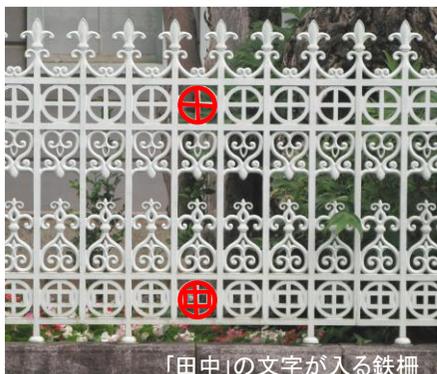
田中銀行の時代

郵便局舎として明治35年まで使われた後、大正9年に田中薫策と田中慶重らが中心となり、株式会社山梨田中銀行が設立され、カウンターがある銀行社屋として改修され、重要書類の保管施設としてレンガ造土蔵、さらに繭蔵1棟、米蔵2棟が背後に整備されました。

住宅の時代

銀行の後には住宅として改修が行われ、第二次世界大戦中は田中本家に北白川宮が疎開し、田中銀行は関係者である水戸部孚の住宅として使われていました。

二階の和室には、疎開当時の品々がそのまま残されています。

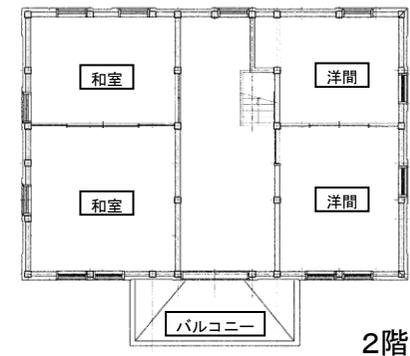
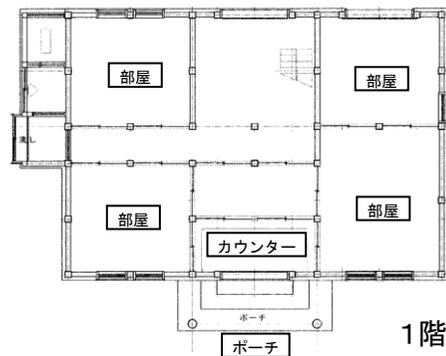


「田中」の文字が入る鉄柵

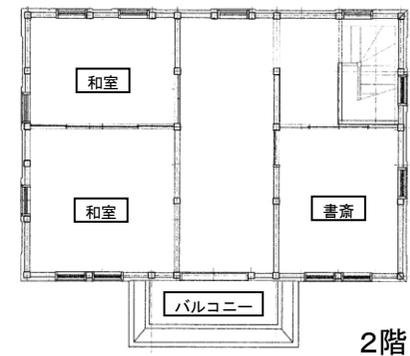
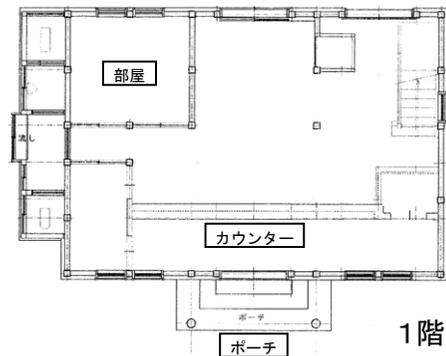
こんなところが洋風です

- 引き上げ窓
- 開きドア
- 菱格子天井
- 車寄せ
- ベランダ
- フェンス
- 湾曲した軒下
- ペイント木目
- ファンライトの意匠
- 石積みを模した外壁
- 手すり付螺旋階段

勝沼郵便電信局時代



山梨田中銀行時代



現在（保存修理後）

